

PPC Affiliate Master School 【PC】

FFFTP の使い方

著作権保護に関する記述

■著作権について

「PPC Affiliate Master School 【PC】」(以下、本教材とする)は、著作権法で保護されている著作物です。本教材の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

- ・本教材の著作権は、株式会社メリディオンにあります。株式会社メリディオンの書面による事前許可なく、本教材の一部、または全部をインターネット上に公開すること、およびオークションサイトなどで転売することを禁じます。
- ・本教材の一部、または全部をあらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど)により複製、流用および転載することを禁じます。

■使用許諾契約書

本契約は、本教材を購入した法人・個人(以下、甲とする)と株式会社メリディオン(以下、乙とする)との間で合意した契約です。

本教材を甲が受けとることにより、甲はこの契約は成立します。この契約に同意できない場合は、直ちに本マニュアルを乙までご返品ください。ご返品の無い場合は、甲は、この契約に合意したものとします。

第1条(目的)

本契約は、本教材に含まれる情報を、本契約に基づき、甲が非独占的にしようとする権利を承諾するものです。

第2条(第三者への公開の禁止)

本教材に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。また、本教材の内容は、秘匿性の高い内容であり、甲はその情報を乙との書面による事前許可を得ずにいかなる第三者にも公開することを禁じます。

第3条(契約解除)

甲が本契約に違反した場合、乙はいつでもこの使用許諾契約を解除することができるものとします。

第4条(損害賠償)

甲が本契約の第2条の規定に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、違約金として、違反額を乗じた価格の10倍の金額を支払うものとします。

第5条(免責事項)

本教材の情報によっていかなる損害が生じた場合においても、乙は一切の責任を負うものではありません。

FFFTPの使い方

では、FFFTPについてご説明します。

「そもそも、FTPって何？どんな役割なの？」

と思う方もいると思うので、簡単に説明します。

ここにたどり着くまでに「サーバー」と「ドメイン」を取得してもらったと思うのですが、

サーバーが土地。

ドメインが住所。

ホームページが家。

イメージで言うなら、こんな感じです。

しかし、土地も住所もすべてインターネット上に存在しているので、パソコンで作った家（ホームページ）を、何とかしてインターネット上に運ばなければいけません。

それを運んでくれるのが、「FTPソフト」になります。

FTPソフトであれば、今まであなたのパソコンの中でしか存在していなかつた家を、インターネット上の「土地」と「住所」に運ぶことができます。

なんとなく、イメージできたでしょうか？

そして、今回使うFTPソフトは、
最もポピュラーである「FFFFTP」を使用します。

この「FFFFTP」というソフトは無料で使って、
比較的簡単にできるので、初心者の方にはオススメです。

では、早速作業を始めましょう。
下記リンクをクリックしてください。

FFFFTPダウンロードページ

⇒ <http://www.vector.co.jp/soft/dl/win95/net/se061839.html>

「このソフトを今すぐダウンロード」をクリック。



勝手にダウンロードが始まると思います。

「ファイルを保存」をクリックしてください。

ダウンロードが始まらない場合は、

「ダウンロードが始まらない場合は、こちらをクリックしてください」

をクリックしてください。

すると、おそらくデスクトップ上に、

「ffftp」という名前の、見慣れないアイコンがあると思います。

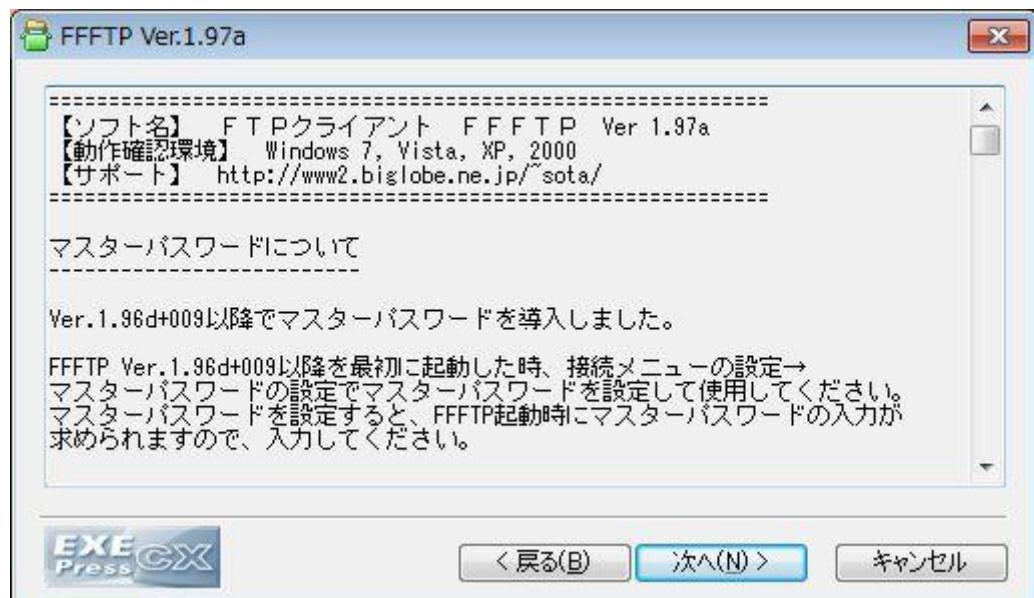
このアイコンをダブルクリック。

「実行」を選択。するとこのような画面が出てきます。



「次へ」をクリック。

利用規約の画面が出てきます。



「次へ」をクリック。

ファイルのコピー先フォルダを指定してください。という画面になります。
基本的にはそのまま大丈夫なので、「次へ」をクリック。



「以下の指定でインストールを行います」という画面になります。



「デスクトップ上にショートカットを作成する」

にチェックが入っていることを確認し、「次へ」をクリック。

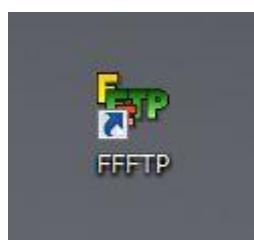
インストールが始まります。

インストールが終わると、
「インストールが完了しました」という画面が出てきます。



「完了」をクリック。

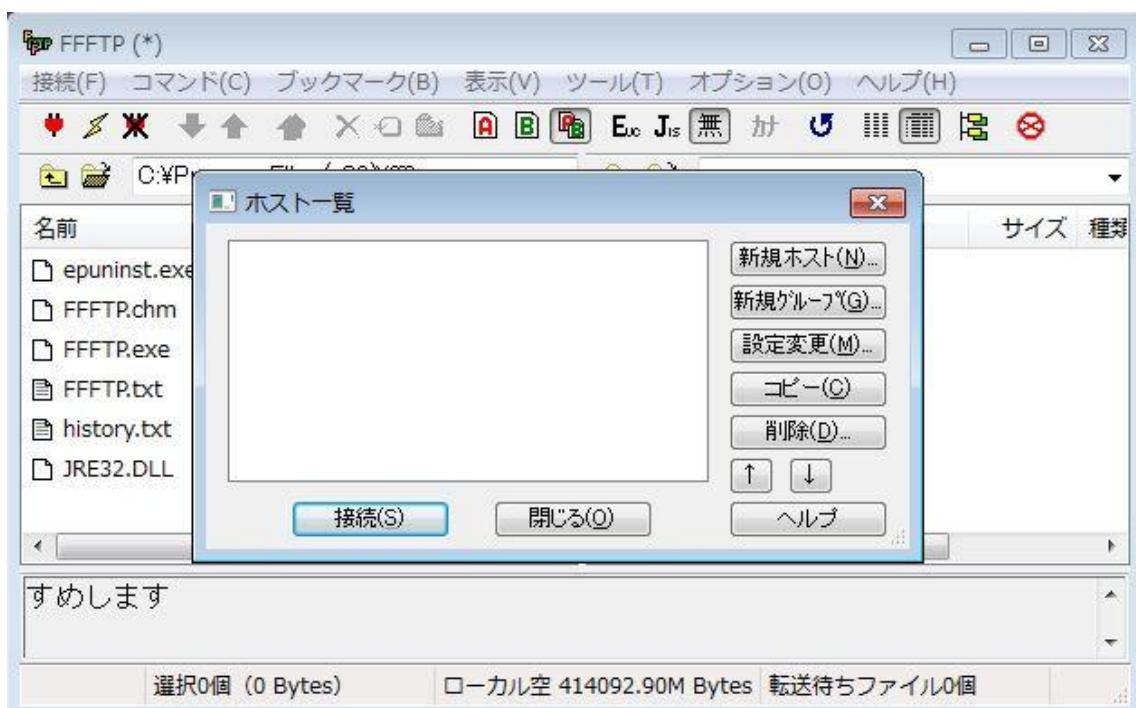
すると、こんなアイコンがデスクトップ上に出てくると思います。



これが、FFFTPのアイコンになります。

ダブルクリックしてください。

こんな画面が出てきたと思います。



「ホスト一覧」というウィンドウがありますが、
まだホストには何も書かれていませんね。

先ほどの例で言うと、ここに「**土地と住所**」を指定するわけです。
あなたの「土地と住所」を指定して、そこに「**家**（ホームページ）
を送るということです。

では、あなたの土地と住所は、どこに記載されているのか？
ということなのですが、

それは、サーバーを契約した際のメールに書いてあります。

さくらインターネットで契約したのなら、
【さくらのレンタルサーバ】仮登録完了のお知らせ
という件名のメールに記載されています。

この部分です。↓

《 契約サービスの接続情報 》

FTP サーバ名 : ●●●●●.sakura.ne.jp

FTP アカウント : ●●●●●●●

FTP 初期フォルダ : www

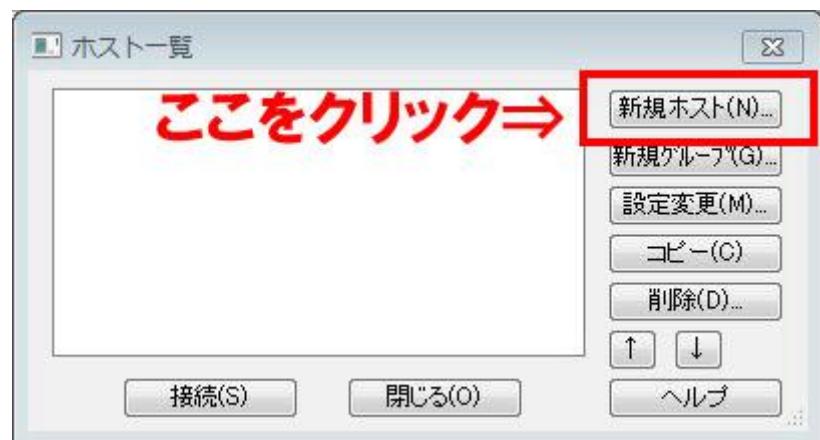
サーバパスワード : ■■■■■■■

はっきり言って意味が分からぬと思いますが、
これがあなたの契約した「土地と住所」の情報になります。

この情報を、F F F T P に入力していきます。

では、先ほどのFFFTPに戻り、

「新規ホスト」をクリック。



「ホストの設定」という画面になります。

ここに、先ほどの「土地と住所」を入力するわけです。

一つずつ説明します。

まずは、「ホストの設定名」。

こちらは、何でも構いません。

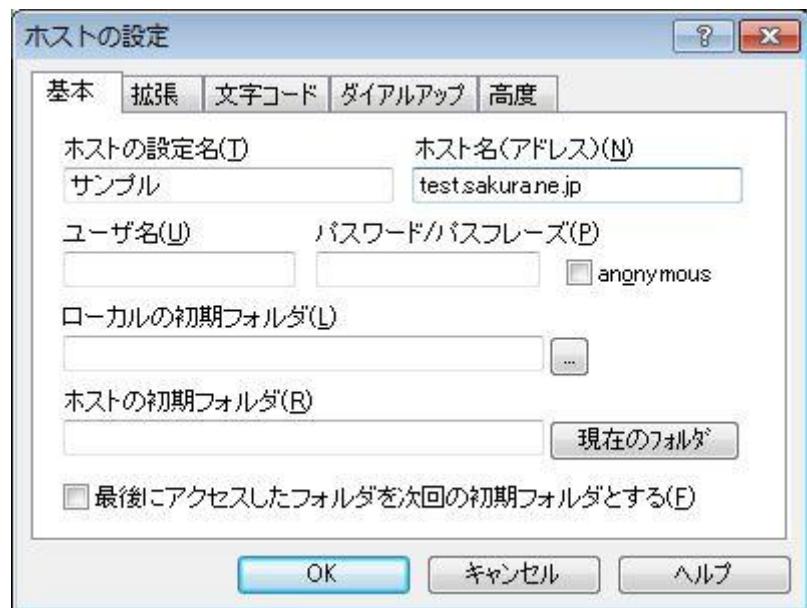
あなたが分かりやすい名前を付けてください。

今回は「サンプル」って名前にします。

次に「ホスト名（アドレス）」という欄です。

ここには、先ほどのメールの「FTPサーバ名」が該当します。

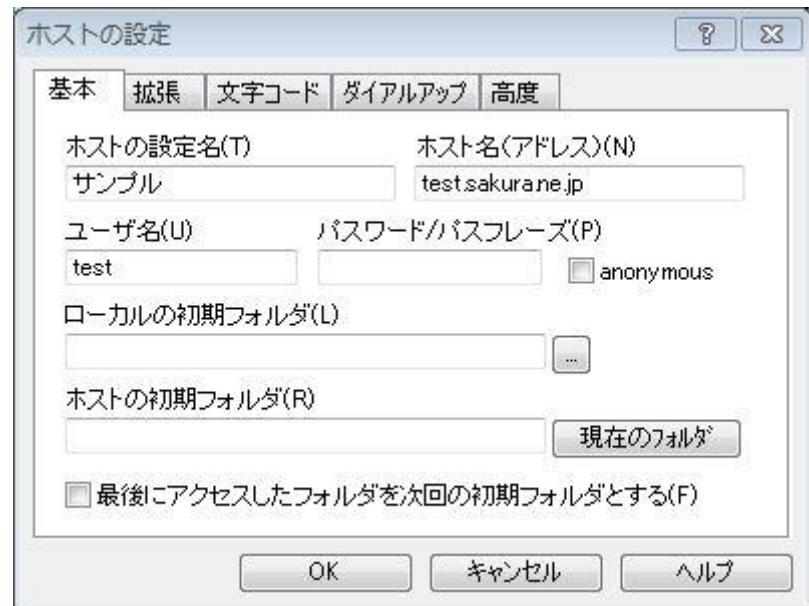
FTPサーバ名をコピーし、「ホスト名」に記入してください。



次に「ユーザ名」です。

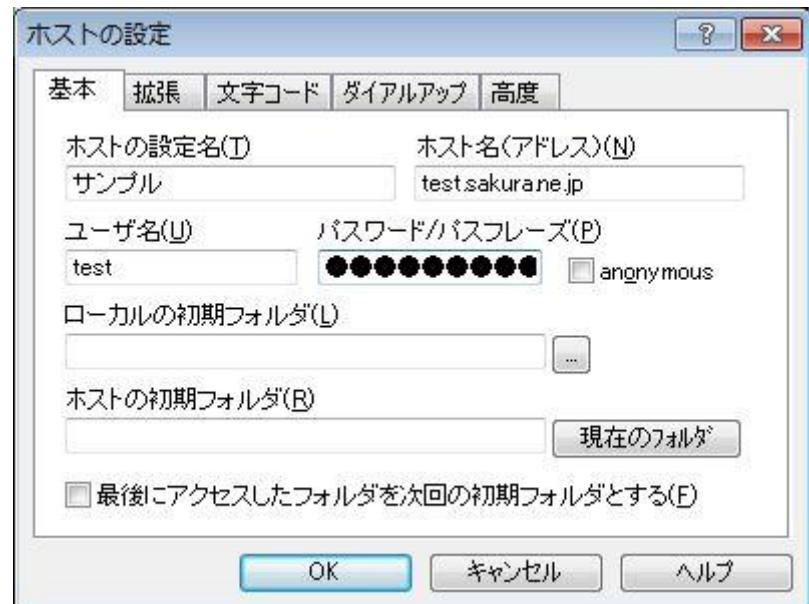
ここには「FTPアカウント」が該当します。

コピーして貼り付けてください。



次に「パスワード／パスフレーズ」の欄を記入します。

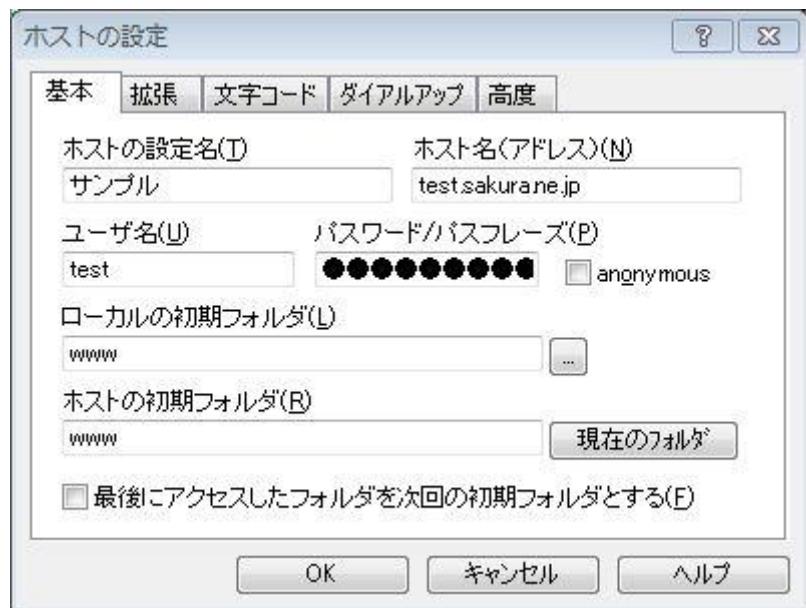
メールでいう「**サーバパスワード**」になりますので、コピーして貼り付けてください。



次に、「ローカルの初期フォルダ」です。

ここには「www」と記入してください。

また、「ホストの初期フォルダ」にも、「www」と記入してください。



これで設定は完了になります。

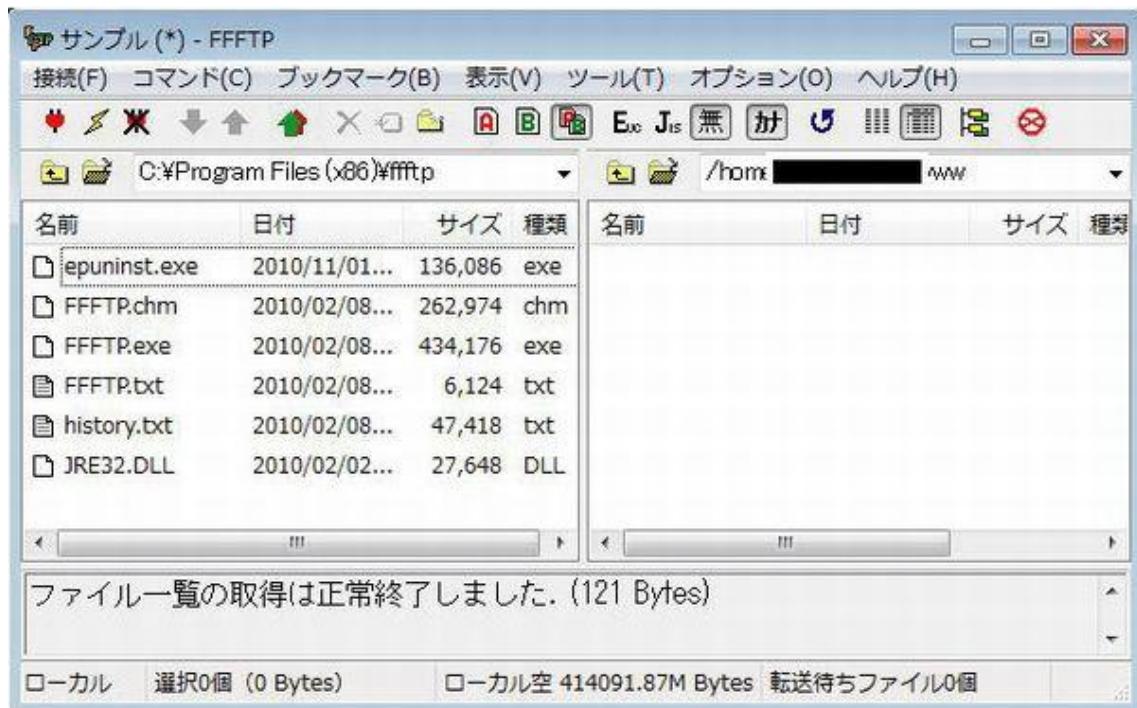
「OK」をクリックしてみてください。この画面が出てきます。

「接続」をクリック。



接続が開始されます。

こんな画面が表示されたら成功です。



もし「接続」をクリックしてエラーになってしまうようであれば、
どこかの入力が間違っている可能性が高いです。

もう一度、再入力してみてください。

これで、FFFTPにあなたの「土地と住所」が設定されました。
あとは「家」を転送するだけですね。

その前に重要な作業があります。
それは「**フォルダを作成**」することです。

そして、重要なのは「**フォルダの名前**」です。

「**サーバーとドメインの取得方法**」PDFで説明した、
これを覚えているでしょうか？

+ ppcformula.netの使用方法をお選びください

1. 設定をお選びください

マルチドメインとして使用する(推奨)
マルチドメインを選択したとき、指定したフォルダを既定のフォルダとして表示します。同時にwwwが付与されたサブドメインも利用できます。
以下のURLがご利用いただけます。
<http://ppcformula.net/>
<http://www.ppcformula.net/>

wwwを付与せずマルチドメインとして使用する(上級者向け)
マルチドメインで「www」サブドメインを自動的に付与しないようにします。
以下のURLがご利用いただけます。詳細については[FAQ](#)をご覧ください。
<http://ppcformula.net/>

さくらのブログで使用する
ブログが作成されていません

2. マルチドメインの対象のフォルダをご指 独自ドメイン名と同じものを記入。

指定フォルダ 「/」は消さない！
/home/ppcformula/www /ppcformula

3. 共有SSLの利用を選んでください

共有SSLを利用する
 共有SSLを利用しない

この「**指定フォルダ**」のことです。

この指定フォルダと同じ名前のフォルダを作成する必要があります。

説明通りにやっていただけたなら、

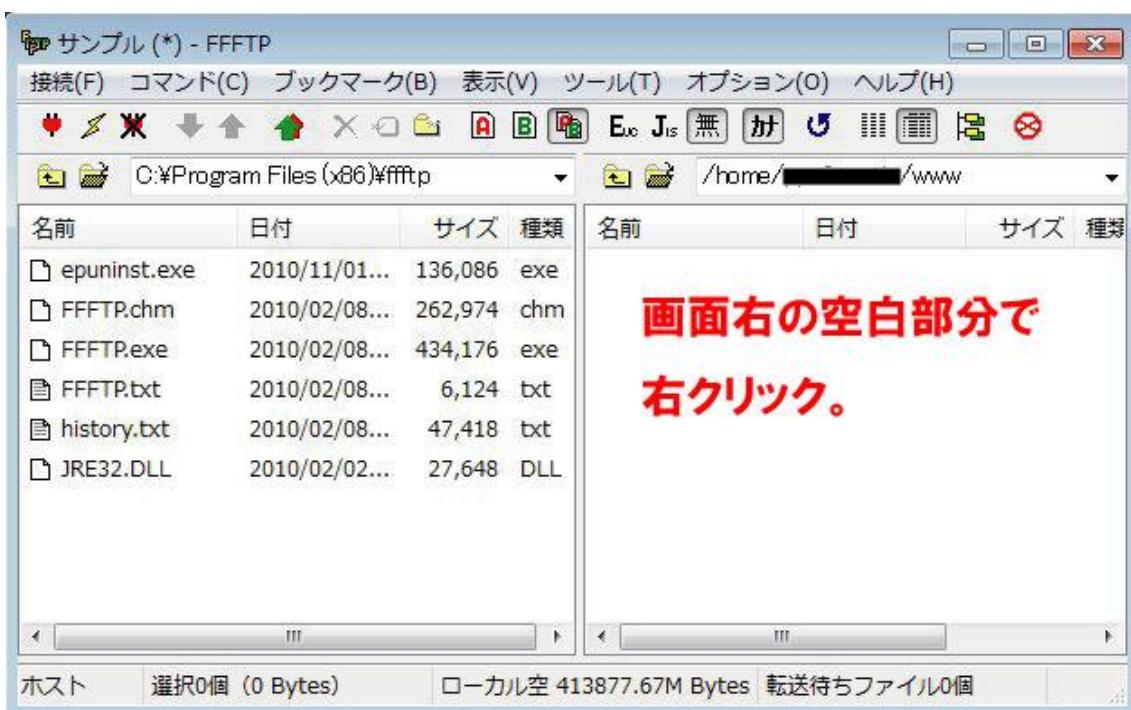
指定フォルダ名は「/あなたのドメイン名」になっているはずですね。

この、「/」を抜いたフォルダを作成してください。

上記画像なら、「/ppcformula」になっているので、
「ppcformula」というフォルダを作成することになります。

では、具体的な手順に入ります。

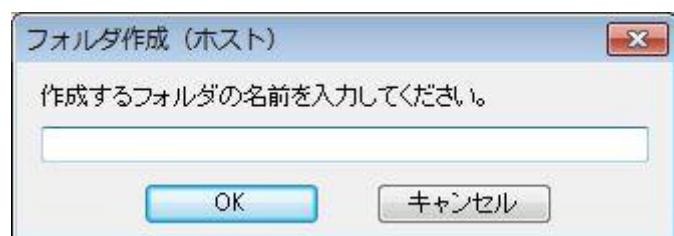
FFFTPを開き、ホストに接続した状態で、**画面右の空白部分を右クリック。**



すると、ウィンドウが開くはずです。

ウィンドウから、「**フォルダ作成**」を選択。

フォルダの名前を入力するウィンドウが出てきます。

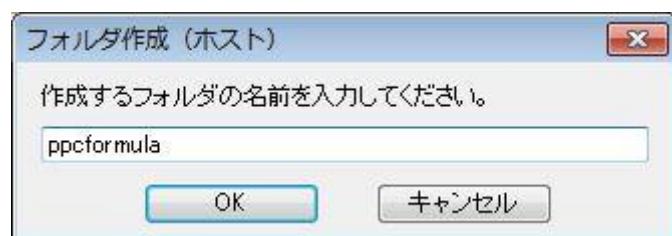


ここに、先ほど説明したとおり、**指定フォルダ名を入れます。**

「/」を抜いた指定フォルダ名ですよ！

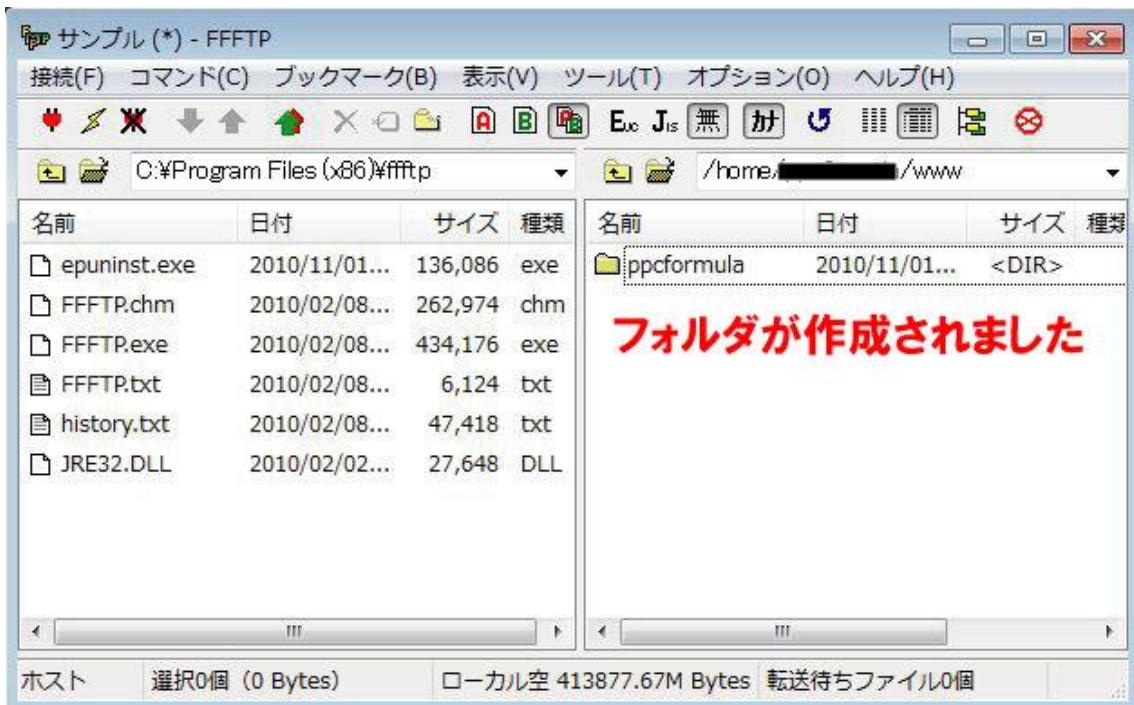
大切な部分なので、間違えないようにしてください。

今回私の指定フォルダ名は「/ppcformula」なので、
「ppcformula」というフォルダ名になります。



入力後、「OK」をクリック。

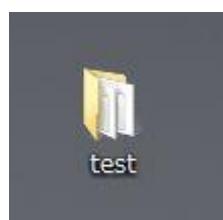
すると、画面右にフォルダが作成されました。



今後ランディングページを作成したら、
このフォルダの中にどんどん追加していくことになります。

では、実際にホームページを追加してみます。

例えば、テンプレートを使って、
「test」というフォルダ名のランディングページを作ったとします。
※フォルダ名は、必ず半角英数字にしてください。



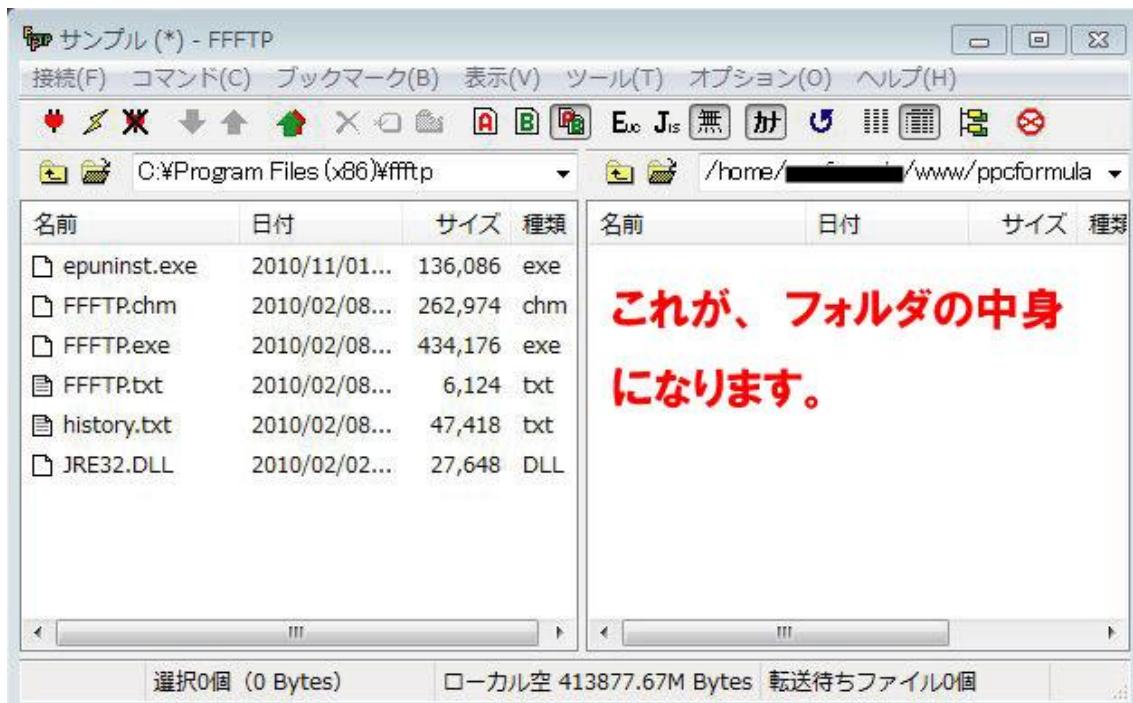
これがランディングページのフォルダですね。

今から、このフォルダを、先ほど F F F T P に作成したフォルダの中に追加していきます。

では、F F F T P の先ほど作成したフォルダをダブルクリックしてください。

また何もない画面が出てきたと思います。

これが、フォルダの中身になります。まだ何も入っていません。

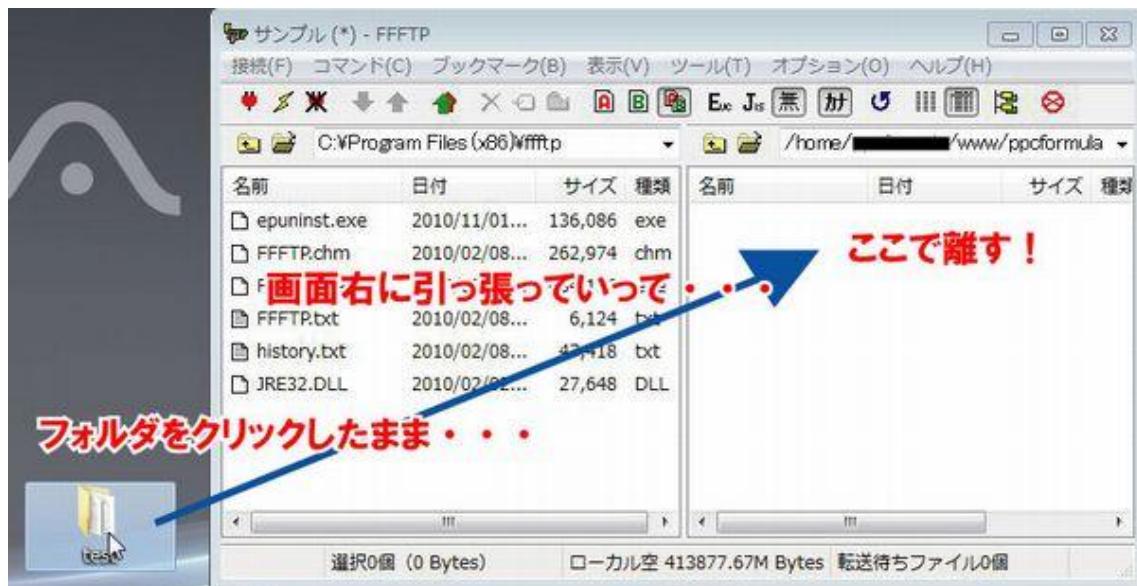


では、先ほど作成した「test」フォルダをクリックし、クリックしたままの状態で、F F F T P の画面に持って行ってください。

で、画面上にきたら、クリックしていた指を離してください。

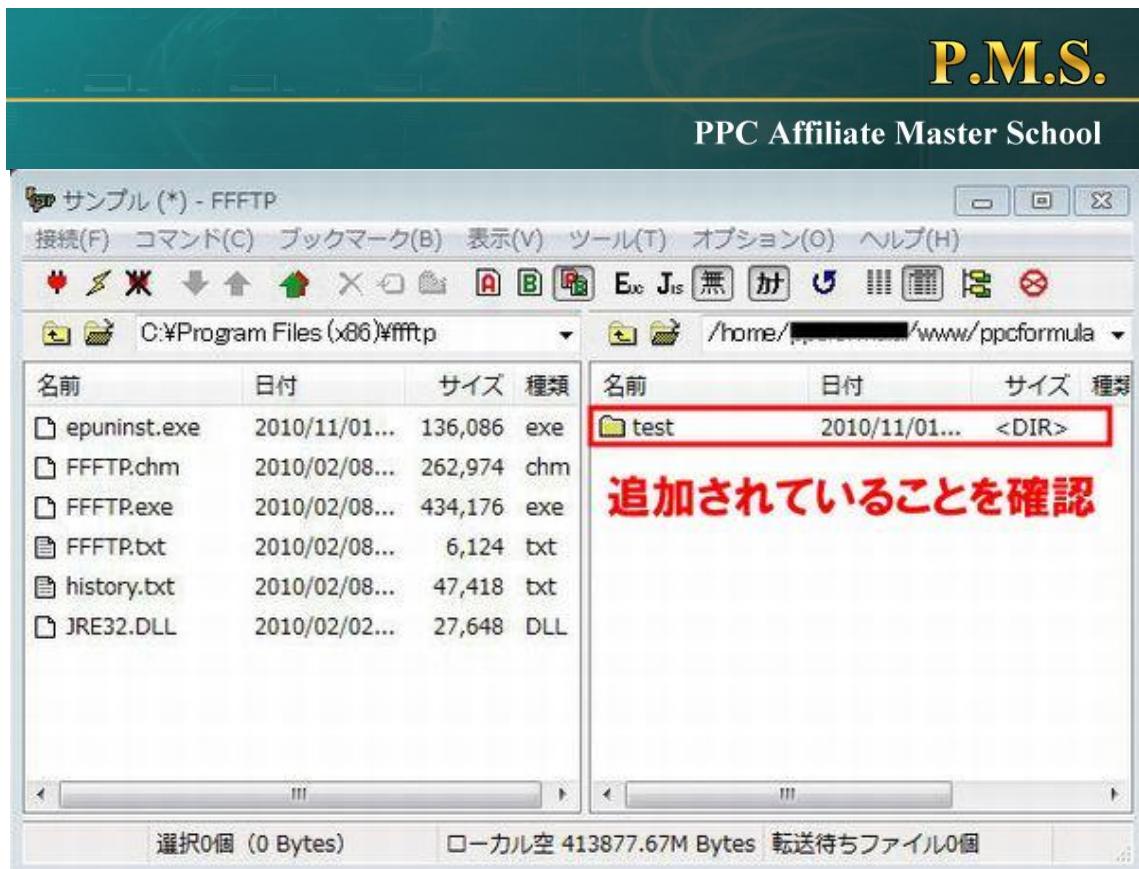
これで「test」フォルダが追加されます。

(これをドラッグ&ドロップと言います)



上手くいけば、アップロードが始まります。

下記のように、実際に「test」フォルダが追加されていれば成功です。



これで、あなたの「土地と住所」に、
ホームページという「家」が追加されているはずです。

実際に確かめてみましょう。

この手順通りに実践した場合、
表示されるURLは、

<http://あなたの取得したドメイン/追加したフォルダ名>

になります。

いくつか例を出すと、

先ほど説明したように、

「ppcformula.net」というドメインを使い、
「test」というフォルダを追加しました。

この場合のホームページアドレスは、

http://ppcformula.net/test

というURLになります。

「abc.com」というドメインで、
「ikumouzai」というフォルダを作ったなら、

http://abc.com/ikumouzai

というURLで、ホームページが表示されることになります。

なんとなく理解していただいたでしょうか？

アップされているのが確認できたら、あとはそのURLを
Yahoo!リスティング出稿の際、「リンク先URL」として指定すればOKです。

この要領で、複数のサイトを追加していきます。

新しいサイトを追加する場合は、

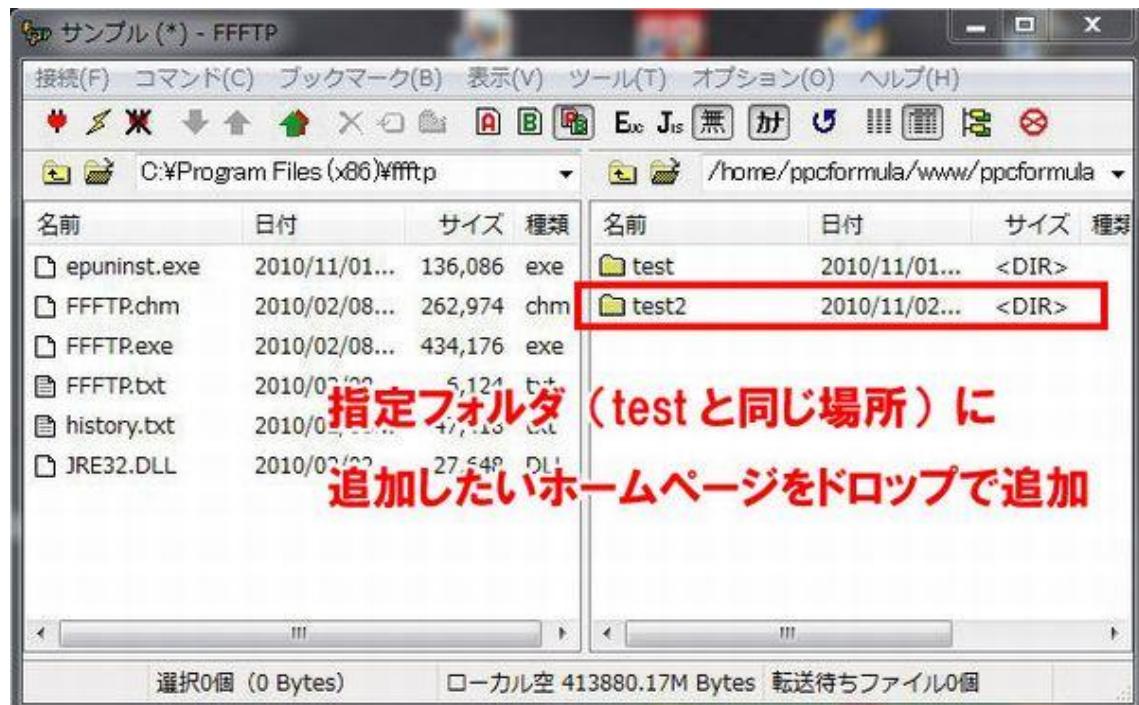
指定フォルダの中に、ホームページのフォルダをドロップすれば追加できます。

例えば、先ほどは「test」というホームページを追加しましたが、

次は「test2」というホームページを追加したいと考えているとします。

そしたら、指定フォルダである「ppcformula」の中に、

「test2」というフォルダを追加すればOKです。



表示されるURLは

http://あなたの取得したドメイン/追加したフォルダ名

になるので、この場合のURLは、

http://ppcformula.net/test2

になるわけです。

以上で、FFFTPの説明は終わりになります。

この辺の話って、ネット初心者さんには本当に分からない分野なんです。
私も最初は意味不明でしたから・・・。

最初は理解できなくてもいいので、
とりあえず、手順通りに進めてみてください。

やっていくうちに、だんだんと分かってくるはずです。
もし分からなければ、サポートから質問してください。

では、お疲れ様でした！！